



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東  
 コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱谷 雄二  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部 総務課 課長 (氏名)安藤 智隆 (TEL)03(6803)8100  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	170	△7.6	△78	—	△85	—	△86	—
2019年3月期第1四半期	184	△7.6	△56	—	△68	—	△81	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △86百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △81百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△2.33	—
2019年3月期第1四半期	△2.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,446	2,925	53.7
2019年3月期	5,069	3,011	59.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,925百万円 2019年3月期 3,011百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	19.9	300	△20.1	130	△64.6	120	115.5	3.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名)株式会社蓮田ショッピングセンター

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	37,131,000株	2019年3月期	37,131,000株
2020年3月期1Q	60,400株	2019年3月期	60,400株
2020年3月期1Q	37,070,600株	2019年3月期1Q	37,070,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米中貿易摩擦の深刻化による中国をはじめとしたアジア経済の減速、世界経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する不動産市場におきましては、2019年第1四半期（1月から3月）における国内商業用不動産投資額は、2018年第4四半期に続き2期連続で前年同期の投資額を下回りましたが、東京都心で多数の大型オフィスが取引されていることから、不動産投資市場は堅調な状況が続いております。また、インフラ企業（電力会社、鉄道会社）による不動産投資が増加するなど、プレイヤーの多様化によって市場の厚みは増している状況にあります。（ジョーンズラングラサー株式会社調査レポートより）

このような状況下、当社グループでは、投資対象とする不動産の潜在的価値を高めたうえで販売を行うプリンシパルインベストメント事業、プロパティマネジメントサービス（物件ごとのニーズに合ったオーダーメイド型の入居者管理代行サービス）、及び賃貸事業や不動産賃貸・売買の仲介業務を行うソリューション事業、並びに当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン（以下、大多喜ハーブガーデン）にて、ハーブガーデンの運営を行うその他事業にそれぞれ注力してまいりました。加えて、前第4四半期連結会計期間より、新たにインバウンドをターゲットとして、差別化された宿泊施設の取得・開発及び観光周辺サービスといったインバウンド関連事業に取り組んでおります。

しかしながら、当社が保有する販売用不動産につきまして、当第1四半期連結累計期間での売却に至らなかったことから、売上高は170,815千円（前年同四半期比7.6%減）、営業損失は78,416千円（前年同四半期は営業損失56,079千円）、経常損失は85,445千円（前年同四半期は経常損失68,755千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は86,290千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失81,093千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（プリンシパルインベストメント事業）

プリンシパルインベストメント事業につきましては、当第1四半期連結累計期間においては、販売用不動産の売却はありませんでした。一方、仕入活動につきましては、古民家を活用した宿泊施設を取得・開発する古民家事業では、東京・神奈川エリアにおいて4案件の売買契約を締結するとともに、「食」に着目した観光周辺サービスの1つであるフード関連施設（横丁事業）の開発用物件として5案件の売買契約を締結するなど、インバウンド関連事業は順調に進捗しております。

この結果、売上高は一千円（前年同四半期の売上高は一千円）、セグメント損失（営業損失）は27,286千円（前年同四半期は20,186千円の営業損失）となりました。

（ソリューション事業）

ソリューション事業につきましては、賃貸事業において和歌山マリーナシティ内3施設の配当金収入を計上したものの、前第2四半期連結会計期間に埼玉県蓮田市に所在する物件を売却したことにより、賃料収入が減少いたしました。

この結果、売上高は107,924千円（前年同四半期比19.3%減）、セグメント利益（営業利益）は23,239千円（前年同四半期比53.7%減）となりました。

（その他）

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンにつきましては、ゴールデンウィークが10連休であったことに加え、イベント開催や各種メディア媒体へのPR活動が奏功し、当第1四半期のハーブガーデンへの入園者数は前年比で30%増と大幅に増加いたしました。加えて、飲食店等への各種ハーブ卸売事業においては、新規取引先の開拓が進み、安定的な商品供給の体制構築に取り組んでおります。

この結果、売上高は78,328千円（前年同四半期比18.9%増）、セグメント利益（営業利益）は19,432千円（前年同四半期比50.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ460,195千円増加し

5,378,188千円となりました。これは主として、現金及び預金が547,954千円減少したものの、販売用不動産が661,478千円増加したこと及びその他流動資産が337,895千円増加したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ83,621千円減少し68,365千円となりました。これは主として、投資その他の資産が89,303千円減少したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ376,573千円増加し5,446,554千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ238,827千円増加し1,104,975千円となりました。これは主として、短期借入金の増加179,406千円があったこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末と比べ224,036千円増加し1,416,536千円となりました。これは主として、長期借入金の増加218,889千円があったこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ462,864千円増加し2,521,512千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ86,290千円減少し、2,925,041千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,095,853	1,547,898
売掛金	51,581	61,930
営業出資金	98,000	98,000
販売用不動産	2,268,598	2,930,077
その他のたな卸資産	15,161	13,588
その他	388,798	726,694
流動資産合計	4,917,992	5,378,188
固定資産		
有形固定資産	18,733	24,414
無形固定資産	48	48
投資その他の資産	133,206	43,903
固定資産合計	151,987	68,365
資産合計	5,069,980	5,446,554
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,567	8,846
短期借入金	500,000	679,406
1年内返済予定の長期借入金	65,000	96,111
未払法人税等	230	645
前受金	14,308	15,380
賞与引当金	5,916	3,958
その他	275,126	300,627
流動負債合計	866,148	1,104,975
固定負債		
長期借入金	1,192,500	1,411,389
その他	—	5,147
固定負債合計	1,192,500	1,416,536
負債合計	2,058,648	2,521,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	977,398	891,108
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	3,011,332	2,925,041
純資産合計	3,011,332	2,925,041
負債純資産合計	5,069,980	5,446,554

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	184,833	170,815
売上原価	88,879	95,029
売上総利益	95,953	75,785
販売費及び一般管理費	152,033	154,201
営業損失(△)	△56,079	△78,416
営業外収益		
受取利息	4	1,356
受取保険金	—	667
その他	35	74
営業外収益合計	40	2,098
営業外費用		
支払利息	7,966	5,927
資金調達費用	4,750	1,736
その他	—	1,465
営業外費用合計	12,716	9,128
経常損失(△)	△68,755	△85,445
特別損失		
固定資産売却損	2,467	—
特別損失合計	2,467	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,222	△85,445
法人税等	9,870	844
四半期純損失(△)	△81,093	△86,290
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,093	△86,290

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△81,093	△86,290
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△81,093	△86,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,093	△86,290
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	—	133,752	133,752	51,080	—	184,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	14,791	△14,791	—
計	—	133,752	133,752	65,872	△14,791	184,833
セグメント利益又は損 失(△)	△20,186	50,174	29,988	12,897	△98,965	△56,079

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△98,965千円には、セグメント間取引消去△14,791千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△84,173千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	—	107,924	107,924	62,890	—	170,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	15,438	△15,438	—
計	—	107,924	107,924	78,328	△15,438	170,815
セグメント利益又は損 失(△)	△27,286	23,239	△4,046	19,432	△93,801	△78,416

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△93,801千円には、セグメント間取引消去△15,438千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△78,363千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。